



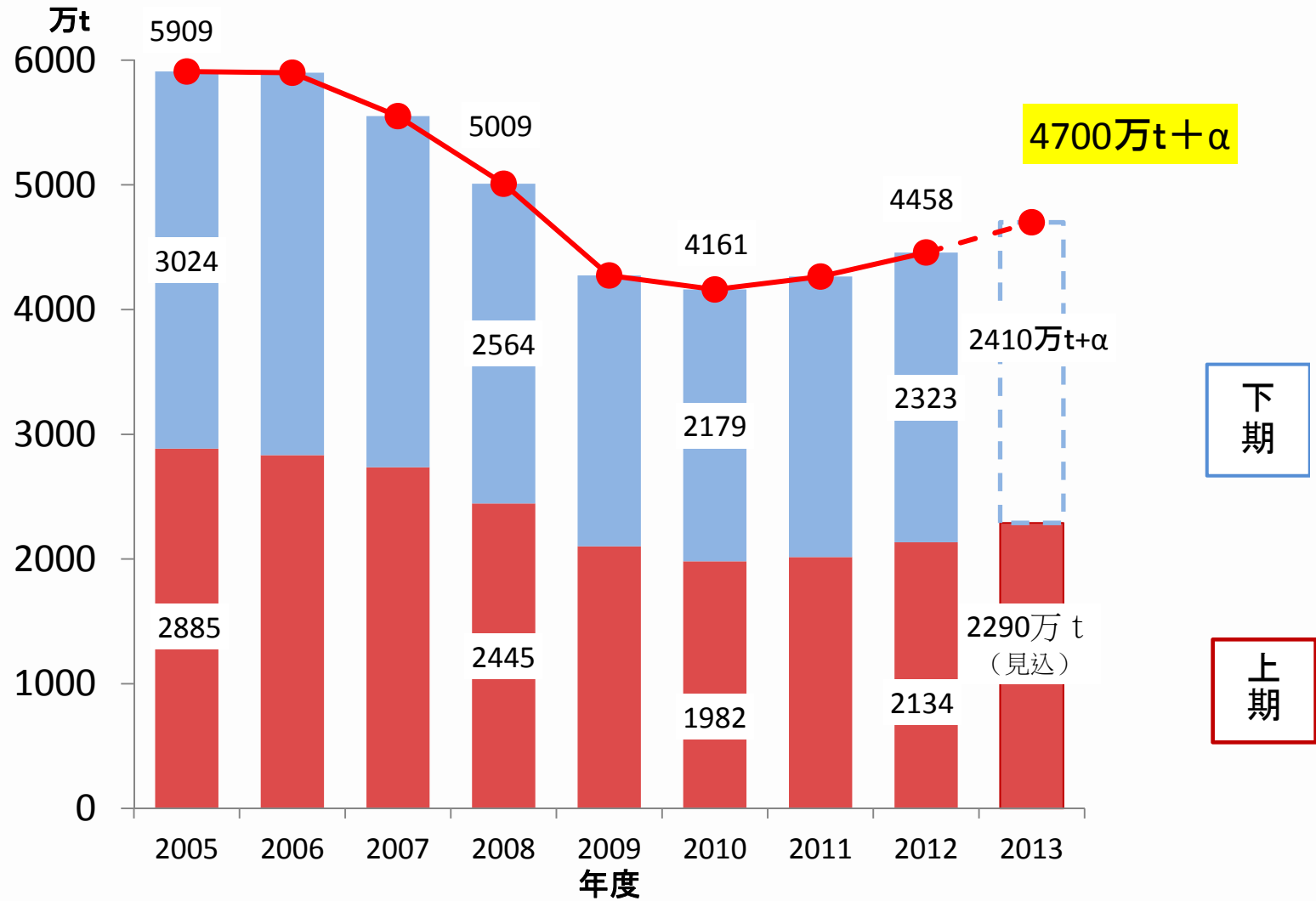
最近の需給動向について

2013年10月24日 重工業研究会

1. 国内需要の推移
2. 2013年度上期販売の背景
3. セメント供給体制の強化
4. 中期的なセメント需要

流通委員会 委員長 氣仙伊作

1. 国内需要の推移



2. 2013年度上期販売の背景

地区	実績(万t)	伸び率(%)	寄与度(%)	プラスの主な背景
北海道	116	9.3	0.5	北海道新幹線関連工事
東北	237	25.6	2.3	被災地を中心に復旧・復興工事
関東一区	528	6.1	1.5	再開発等の民間需要
関東二区	191	▲4.3	▲0.4	
北陸	112	▲2.7	▲0.2	
東海	236	4.3	0.5	再開発等の民間需要
近畿	305	6.0	0.8	再開発等の民間需要、災害復旧工事
四国	82	▲1.4	▲0.1	
中国	138	5.9	0.4	都市部マンション建築
九州	266	16.1	1.8	都市部マンション建築、災害復旧工事
沖縄	39	15.5	0.2	那覇港臨港道路工事、リゾートホテル建築
計	2,250	7.3	7.3	
内需(含輸入)見込み	2,290	7.3	7.3	

3. セメント供給体制の強化

生産

- (1)フル生産
- (2)休止キルンの再稼働
- (3)キルン定期修繕期間の短縮と集中
- (4)輸出向けを国内出荷に振り向け

物流

- (1)タンカー
 - 新造船
2013年度中:5隻・積載量24,200t
2014年度中:5隻・積載量23,300t
 - 廃船時期の先延ばし
- (2)SS
 - 夜間・休日出荷の実施
 - 被災地での休止SSの復活・出荷能力の増加・指定品種への対応
- (3)バラトラック
 - 被災地110台増車(新車、域外応援等)
2011/4:193台 ⇒ 2013/4:303台

4. 中期的なセメント需要

プラス要因

- 復興需要は2～3年がピーク
- 国土強靱化による全国的な防災・減災投資が実施
- 成長戦略による民間投資が活発化
- 2020年東京オリンピック・パラリンピックを控え首都圏で建設投資が集中

マイナス要因

- 本格的な景気回復後に財政再建の必要から、公共事業費が削減される懸念